

全国かるた連盟第 55 回総会議事録

日時：平成 24 年 3 月 23 日

場所：江戸川区スポーツセンター

開会

出欠：加盟大学の 3 分の 1 以上の出席、委任状を満たすので成立。

議長の選出

谷（会長・慶應 3）：議長は私が務めさせていただきたいと思う。承認の方は拍手を願いたい。

→賛成多数で承認。

第一号議案 平成 24 年度新役員の選出について

谷：役員選出を以下のように報告する。

会長	吉井 平八郎	（早稲田大学）
副会長	西 紀之	（一橋大学）
会計	荒井 智子	（國學院大学）
事務局長	高橋 大地	（東京大学）
副事務局長	有馬 はるか	（慶應義塾大学）
事務局員	猪俣 俊介	（慶應義塾大学）
	藤田 理美	（東京大学）
	渡辺 真緒	（早稲田大学）

第二号議案 平成 24 年度予算案

山口（会計・早稲田 3）：会計資料の予算案（別紙）に書いてある通りである。

谷：予算案について質問はあるか。

高橋智（事務局長・東大 3）：支出の部の第 83 回全国かるた選手権大会運営費には墨田区の体育館の使用料は含まれているのか。

山口：含まれていない。

谷：予算案の承認を取りたいと思う。承認の方は拍手を願いたい。

→賛成多数で承認。

第三号議案 大学選手権の会計報告

山口：会計資料の収入報告（別紙）に書いてある通りである。補足説明をすると、8 項目目

の前年度記録冊子製本費についてだが、これは去年の会計報告には含んでいなかった。また今年の支出計は赤字だが、去年は一万円ほどの黒字であった。

谷：プログラム製本費についてだが、今年はある事情により文章が仕上がらず、例年頼んでいたところに印刷を頼めなかったために三万円ほど高くなった。

谷：会計報告について質問はあるか。

→質問なし

谷：会計報告の承認を取りたいと思う。承認の方は拍手を願いたい。

→賛成多数で承認。

第四号議案 来年度の大学生選手権について（関西連盟より）

谷：関西大学連盟の川崎隆広より報告する。

川崎（関西連盟・京大 3）：来年度の大学生選手権について報告する。まず七回戦制について報告する。資料を参照していただきたい。新人と一回生の増加によって二回生の部の参加者が 64 人を超えるのは時間の問題である。会場のキャパシティも厳しくなっている。そこで「人数オーバーした際には浦安を七回戦制、朝日を六回戦制にする」以下のタイムテーブルを提案する。

	浦安	朝日
一回戦	09：00～10：40（100分）	09：00～11：00（120分）
二回戦	10：40～12：20（100分）	11：00～13：00（120分）
三回戦	12：20～13：50（90分）	13：00～14：50（110分）
四回戦	13：50～15：20（90分）	14：50～16：30（100分）
五回戦	15：20～16：40（80分）	16：40～17：50（70分）
六回戦	16：40～17：50（70分）	17：50～19：00（70分）
七回戦	17：50～19：00（70分）	

川崎：朝日の五回戦以降は浦安の六回戦と合流して、その間にコンパの準備が出来ることが望ましい。

谷：質問はあるか。

谷：二回生を朝日と浦安で分けなくてすむのか。

川崎：応接室が使えれば二回生は分けなくてすむ。

川崎：次に大学代表の部の強制出場について資料を見ていただきたい。他の部の参加者が増えているのに対し、大学代表の部の参加者は年々減少傾向にある。

2009年 31名→2010年 28名→2011年 22名

川崎：大学代表に参加していない大学で A 級や B 級を出してとも資料には見られる。これによって七回戦制の回避の可能性があるので検討していただきたい。

どこまで強制出場にするか関西連盟から提案するのは以下の 3 パターンです。

案1 団体戦に出た大学が個人戦にも出場する場合は大学代表を出してもらう。

案2 上記の案の大学に加え、個人戦の新人戦以外に出場する選手がいる場合は大学代表を出してもらう。

案3 個人戦に出る大学は大学代表を出してもらう。

川崎：関西では案1が賛成多数であった。

谷：意見はあるか。

岡田（東大3）：団体に出ないけど大学代表に出るというのは可能か。

川崎：可能である。

高橋智：団体戦に出たメンバーが全て新人の場合は大学代表に参加しなければならないのか。

川崎：今年に関して言えば、そういった大学はなかった。ただし、宮崎大学は全員無段であった。

谷：もしそうなったらどうするか。

川崎：まだ検討はしていない。

高橋智：さらなる可能性として、団体には大学で有段者以上も出たが、個人戦には新人戦のみしかエントリーしていないということも考えられる。

谷：まだルールが煮詰まっていないようである。ここではまず強制出場について承認を取りたいと思う。承認の方は拍手を願いたい。

→賛成多数により承認。

谷：次にこの三パターンのうちで話し合うべき方針のみここでは決め、あとは関西連盟で具体的に決めていってもらいたいと思う。

→案1が賛成多数。

第五号議案 墨田区のスポーツセンターについて

谷：来年度以降の学生について夏 DE 級、春 ABC 級開催であることが決定していた。さる事情によって墨田区のスポーツセンターを借りてしまった。借りた者の意図としては学生の E 級を同日に開催することで残りの ABCD 級を江戸スポで開催するつもりだったようである。非常に良い会場で比較的新しいので優先予約も取りやすい。ただ今回は学生大会としては使用しないつもりである。畳の数は 256 畳で学生と同日に時間は 9 時～18 時で予約してある。今後この施設を利用していくためにプロモーションを行う。協力を願いたい。現段階では ABC 級によるエキシビジョンマッチを考えている。

山口：加盟校のメリットとしては練習が出来ることである。春以降の企画としては全くの未定である。

谷：学生を年二回開催に戻すために今年は会場探しにあてた。是非この会場を今後も使っていきたいので良い活用方法を考えてもらいたい。現段階では具体的な構想は特に練られ

ていない。

高橋智：関西の人に聞いてみたい。まずこういった催しに来たいと思うか。またこういったことをやりたいという意見があれば是非聞きたい。

谷：場所は錦糸町で東京に近い。使用時間の延長は交渉次第である。

山口：加えて施設に対し、武道場をかるたとして使用することへの説明が必要。そのためのプロモーションである。

谷：四月末までに新役員で話をまとめて、五月十二日の関西連盟の話し合いにもちかえる。今後、職域としても使用していける可能性はある。

植松：同日に学生大会を開くが、会場に役員は足りるのか。

谷：おそらく足りるが具体的にはわからない。本来の会場使用申請期間を逸脱して会場を取ってしまったので、何らかの大会を開催しないという選択肢はない。

谷：他に何か意見はあるだろうか。ないなら閉会にしたいと思う。

閉会